

国産原材料サプライチェーン構築事業に関する事業評価シート

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	取組名	事業実施年度	成果目標の具体的な内容	成果目標関係									整備事業	事業評価の検証方法	費用対効果分析関係		事業計画の妥当性	適正な事業執行	地方農政局長等の意見
						生産者～中間事業者			中間事業者～食品製造業者等			食品製造業者等～協議会外					計画値	結果			
						現状値(20年)	目標値(24年)	実績(24年)	現状値(20年)	目標値(24年)	実績(24年)	現状値(20年)	目標値(24年)	実績(24年)							
福岡	福岡市	九州地区国産原材料利用推進協議会	野菜(白菜・レタス)	21年度～23年度	国産原材料の供給力の向上	-	136%	115%	-	136%	115%	-	-	-	-	平成24年度品目別出荷者別統計での検証による	-	-	1	1	白菜については天候不順であったことに加えレタスではドリフトの影響もあり目標を達成出来なかった。今後、面談の上指導を行い、成果目標を達成するための改善計画を求める。
			野菜(大根)	21年度～23年度	国産原材料の供給力の向上	-	100%	nc	-	0%	nc	-	-	-	-	-	平成24年度品目別出荷者別統計での検証による	-	-	1	1
	朝倉市	秋月農業推進協議会	野菜(たまねぎ他21品目)	21年度～23年度	国産原材料の供給力の向上	-	100%	100%	-	100%	100%	-	-	-	-	取引先との伝票等による	-	-	1	1	増加率と成果目標の割合における達成率を見ると目標を達成しているものの目標数量と実績の割合を考慮すると目標を達成していないため改善計画を求める。
	福岡市	九州農産物推進協議会	野菜(甘藷他2品目)	21年度～22年度	国産原材料の供給力の向上	-	100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3年間の取組みのうち2年間は推進事業を行ったものの食品製造業者が構成員から脱退したため事業が遂行できず成果目標を達成出来なかった。
佐賀	唐津市玄海町	唐津農業協同組合	野菜(いちご)	21年度～23年度	国産原材料の供給力の向上	-	118%	68%	-	118%	-17%	-	-	-	出荷集計方法についてはJAさがアグネス(コンピュータ集計)を利用。また、現状の集計方法と製品出荷伝票による照合操作にて検証を実施する。(加工業務用数量)①出荷伝票②出荷送り状③共販数量実績	-	-	1	1	天候不良等により作柄が悪かったことや実需者側とのミスマッチから、生産量が少なく目標値を大きく下回った。また、整備された集出荷施設において目標の処理能力3割以上を協議会から供給されなければならない目標も達成出来なかった。今後、面談の上、指導を行い、成果目標を達成するための改善計画を求める。	
			いちご	21年度	国産原材料の供給力の向上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	集出荷貯蔵施設	1.20	2.45	1	2	集出荷施設の利用率は94%で成果目標(70%以上の利用率)を達成しており施設が適正に利用された。	
	佐賀市	バラ協賛協議会	野菜(アイスパラント)	21年度～23年度	国産原材料の供給力の向上	-	40%	100%	-	26%	0%	-	-	-	出荷伝票、入荷伝票、販売数量実績	-	-	1	1	ブランド化を図る観点から高品位ではあったものの少量での取扱となったことに加え生産者同士の路線対立から脱退した者もいたことから目標を達成出来なかった。今後、面談の上指導を行い、成果目標を達成するための改善計画を求める。	
長崎	長崎市	長崎県JA加工業務用野菜協議会	野菜(豆類等)	21年度～23年度	国産原材料の供給力の向上	-	120%	143012%	-	120%	857%	-	-	-	出荷(供給)伝票により確認	-	-	1	1	実施計画等に基づき適正に実施され目標を達成した。	
			野菜(ゴボウ他2品目)	21年度～23年度	国産原材料の供給力の向上	-	10%	100%	-	10%	1%	-	-	-	出荷(供給)伝票により確認	-	-	1	1	県下全単協が生産者、全農長崎が中間事業者、食品製造業者が3社の協議会である。今後、面談の上指導を行い、成果目標を達成するための改善計画を求める。	
	長崎市	長崎県加工原材料生産協議会	野菜(たまねぎ・にんじん)	21年度～23年度	国産原材料の供給力の向上	-	726%	805%	-	726%	805%	-	-	-	出荷(供給)伝票により確認	-	-	1	1	実施計画等に基づき適正に実施され目標を達成した。	

国産原材料サプライチェーン構築事業に関する事業評価シート

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	取組名	事業実施年度	成果目標の具体的な内容	成果目標関係									整備事業	事業評価の検証方法	費用対効果分析関係		事業計画の妥当性	適正な事業執行	地方農政局長等の意見
						生産者～中間事業者			中間事業者～食品製造業者等			食品製造業者等～協議会外					計画値	結果			
						現状値(20年)	目標値(24年)	実績(24年)	現状値(20年)	目標値(24年)	実績(24年)	現状値(20年)	目標値(24年)	実績(24年)							
長崎	五島市	JAごとう国産原材料推進協議会	野菜(レタス)	21年度～23年度	国産原材料の供給力の向上	-	18%	100%	-	12%	100%	-	-	-	-	出荷実績による検証(荷受け、出荷伝票など)	-	-	1	1	実施計画等に基づき適正に実施され目標を達成した。
			野菜(高菜・きゅうり)	21年度～23年度	国産原材料の供給力の向上	-	40%	59%	-	64%	78%	-	-	-	-	出荷実績による検証(荷受け、出荷伝票など)	-	-	1	1	実施計画等に基づき適正に実施され目標を達成した。
	ごとう農業協同組合	高菜・きゅうり	22年度	国産原材料の供給力の向上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	農産物処理加工施設(漬物加工施設、漬物槽、電気給排水設備、トラックスケール)	出荷実績による検証(荷受け、出荷伝票など)	1.11	1.47	1	2	農産物処理加工施設の収支率は101%で成果目標(80%以上)を達成しており施設が適正に利用された。	
	大村市	大村市国産原材料推進協議会	野菜(人参他5品目)	21年度～23年度	国産原材料の供給力の向上	-	39%	100%	-	39%	100%	-	-	-	出荷伝票等により検証	-	-	1	1	実施計画等に基づき適正に実施され目標を達成した。	
	諫早市	諫早湾干拓地区国産原材料供給体制構築協議会	野菜(干瓢・切り干し大根)	21年度～22年度	国産原材料の供給力の向上	-	100%	100%	-	100%	100%	-	-	-	出荷伝票により出荷量を把握	-	-	1	1	増加率と成果目標の割合における達成率を見ると目標を達成しているものの目標数量と実績の割合を考慮すると目標を達成していないため改善計画を定める。	
熊本	八代市	中九州サプライ推進協議会	野菜(かんしょ、さといも)	21年度～22年度	国産原材料の供給力の向上	-	940%	590%	-	444%	430%	-	-	-	出荷記録・生産農家聞き取り調査データによる	-	-	1	1	毎年順調に生産量が増加しているものの整備事業が出来ることを前提に成果目標を設定していたため目標を達成出来なかった。今後、面談の上指導を行い、成果目標を達成するための改善計画を定める。	
			野菜(ゴーヤ、おくら、アスパラガス)	21年度～22年度	国産原材料の供給力の向上	-	46%	100%	-	38%	100%	-	-	-	出荷記録・生産農家聞き取り調査データによる	-	-	1	1	実施計画等に基づき適正に実施され目標を達成した。	
	熊本市	藤三七推進協議会	野菜(藤三七)	21年度	国産原材料の供給力の向上	-	100%	0%	-	100%	nc	-	-	-	-	-	-	1	1	3年間の取組のうち1年間は推進事業を行ったものの主要な生産者及び中間事業者が協議会から脱退したため事業が遂行できず成果目標を達成出来なかった。	
大分	竹田市	加工野菜供給促進協議会	野菜(きゃべつ他11品目)	21年度～23年度	国産原材料の供給力の向上	-	100%	36%	-	100%	100%	-	-	-	出荷・入荷伝票	-	-	1	1	生産者の出荷量は目標値を上回ったものの協議会内への出荷割合が3割程度であったことから目標を達成出来なかった。今後、面談の上指導を行い、成果目標を達成するための改善計画を定める。	
	竹田市	竹田市国産原材料供給・利用協議会	野菜(きくらげ他2品目)	21年度～23年度	国産原材料の供給力の向上	-	100%	6%	-	100%	6%	-	-	-	出荷・入荷伝票	-	-	1	1	病害虫の発生など想定外の事態に対応できなかったことや肥培管理が不十分な生産者がいたため目標を達成出来なかった。今後、面談の上指導を行い、成果目標を達成するための改善計画を定める。	
			野菜(チョロギ)	21年度～23年度	国産原材料の供給力の向上	-	183%	172%	-	183%	172%	-	-	-	出荷・入荷伝票	-	-	1	1	23年度の豪雨で被害を受けたことから目標を達成出来なかった。今後、面談の上指導を行い、成果目標を達成するための改善計画を定める。	
	竹田市	大分県竹田協議会	野菜(ほうれんそう)	21年度～23年度	国産原材料の供給力の向上	-	47%	10%	-	31%	100%	-	-	-	出荷・入荷伝票	-	-	1	1	中間事業者による冷凍工場の整備が中止されたことから生産者の目標数量を達成出来なかった。今後、面談の上指導を行い、成果目標を達成するための改善計画を定める。	

国産原材料サプライチェーン構築事業に関する事業評価シート

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	取組名	事業実施年度	成果目標の具体的な内容	成果目標関係									整備事業	事業評価の検証方法	費用対効果分析関係		事業計画の妥当性	適正な事業執行	地方農政局長等の意見
						生産者～中間事業者			中間事業者～食品製造業者等			食品製造業者等～協議会外					計画値	結果			
						現状値(20年)	目標値(24年)	実績(24年)	現状値(20年)	目標値(24年)	実績(24年)	現状値(20年)	目標値(24年)	実績(24年)							
宮崎	都城市	都城地域加工用野菜振興協議会	野菜(ごぼう他4品目)	21年度～23年度	国産原材料の供給力の向上	-	30%	100%	-	16%	12%	-	-	-	-	受入記録表、製造記録表	-	-	1	1	中間事業者からの供給力は十分あるものの食品製造業者の販売先が確保出来なかったため成果目標を達成出来なかった。今後、面談の上指導を行い、成果目標を達成するための改善計画を求める。
			野菜(さといも・ばれいしょ)	21年度～23年度	国産原材料の供給力の向上	-	656%	3289%	-	656%	694%	-	-	-	-	-	受入記録表、製造記録表	-	-	1	1
		(株)都城くみあい食品	21年度(22年度繰越)	国産原材料の供給力の向上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	農産物処理加工施設	(受入記録表、製造記録表)	1.18	1.54	1	2	農産物処理加工施設の収支率は86%で成果目標(80%以上)を達成しており施設が適正に利用された。
宮崎	都城市	都城圏域生産者連携推進協議会	野菜(大根・レタス・こねぎ等)	21年度～23年度	国産原材料の供給力の向上	-	5%	100%	-	5%	39%	-	-	-	-	圃場台帳、生産工程表、出荷伝票による検証	-	-	1	1	実施計画等に基づき適正に実施され目標を達成した。
			野菜(キャベツ等)	21年度～23年度	国産原材料の供給力の向上	-	1025%	12433%	-	313%	15450%	-	-	-	-	-	圃場台帳、生産工程表、出荷伝票による検証	-	-	1	1
鹿児島	始良市	九州加工用野菜推進協議会	野菜(大根・高菜)	21年度～23年度	国産原材料の供給力の向上	-	24%	12%	-	65%	33%	-	-	-	-	漬物用原料実績より検証	-	-	1	1	漬物に対する消費者ニーズの低迷により需要量が伸びず、それに伴い目標値の生産量を下回った。今後、面談の上、指導を行い、成果目標を達成するための改善計画を求める。
宮崎	宮崎市	(株)坂口農産(九州加工用野菜推進協議会)	大根・高菜	21年度	国産原材料の供給力の向上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	農産物処理加工施設	漬物用原料実績より検証	1.89	1.37	1	2	農産物処理加工施設の収支率は104%で成果目標(80%以上)を達成しており施設が適正に利用された。
鹿児島	鹿屋市	大隅地区サプライチェーン協議会	野菜(ほうれん草他5品目)	21年度～23年度	国産原材料の供給力の向上	-	100%	100%	-	100%	100%	-	-	-	-	契約数量の確認による検証を行う	-	-	1	1	実施計画等に基づき適正に実施され目標を達成した。
			野菜(葉ネギ・白ネギ)	21年度～23年度	国産原材料の供給力の向上	-	1023%	666%	-	577%	338%	-	-	-	-	-	契約数量の確認による検証を行う	-	-	1	1
		(株)夢かのや	23年度(22年度明許)	国産原材料の供給力の向上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	農産物処理加工施設(建物、原料加工倉庫、農産物加工機械一式)	契約数量の確認による検証を行う	1.04	1.42	1	2	農産物処理加工施設の利用率は97%であった。しかし、工場の稼働が遅れたため収支率が8割を満たさないことから今後とも事業実施状況報告書の提出を求める。

国産原材料サプライチェーン構築事業に関する事業評価シート

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	取組名	事業実施年度	成果目標の具体的な内容	成果目標関係									整備事業	事業評価の検証方法	費用対効果分析関係		事業計画の妥当性	適正な事業執行	地方農政局等の意見
						生産者～中間事業者			中間事業者～食品製造業者等			食品製造業者等～協議会外					計画値	結果			
						現状値(20年)	目標値(24年)	実績(24年)	現状値(20年)	目標値(24年)	実績(24年)	現状値(20年)	目標値(24年)	実績(24年)							
鹿児島	湧水町	なたね・ごま・えごま生産地協議会	なたね・ごま・えごま	21年度～22年度	国産原材料の供給力の向上	-	120%	-34%	中間事業者と食品製造事業者は同一			-	-	-	-	-	1	1	24年度の実績値が目標値を大きく下回っているのは、台風等の被害による大きな原因である。しかしながら、事業実施主体は、生産面における標準化や、新たな構成員の確保に取りむなど、生産者、食品事業者が協力し、取り組みを継続しており、今後は、作物に対する天候の影響等についても十分に検討しており、今後、それらの実績を基に成果目標を達成するための改善計画を求める。		
長崎	長崎県(全域)	長崎県産茶普及・販売協議会	茶	21年度～23年度	供給連鎖による付加価値の向上	-	20%	7%	生産者と中間事業者は同一			-	-	26%	23%	-	1	1	24年度の実績値が目標値を大きく下回っている原因としては、長崎玉緑茶の需要の見込みが不十分であったことが大きい。一方、事業実施主体においては、中国への本格販売の実施や、健康食品メーカーとの覚え書きの締結など、具体的な協議・取組が進んでおり、今後、それらの実績を基に成果目標を達成するための改善計画を求める。		
熊本	合志市	熊本県抹茶粉末茶協議会	茶	21年度～22年度	供給連鎖による付加価値の向上	-	24%	6%	-	18%	17%	-	23%	17%	-	-	1	1	24年度の実績が目標値を大きく下回っているのは、春一番の強風により、摘採前の生葉が激しく損傷し、製品にしても青臭みがひどく著しく品質が低下したことによる。しかしながら、事業実施主体においては、かぶせ茶とブレンドした桑茶など新商品の販路が伸び始めていることから、今後、それらの実績を基に成果目標を達成するための改善計画を求める。		
鹿児島	鹿児島市	鹿児島県有機栽培茶供給力増強協議会	茶	21年度～23年度	国産原材料の供給力の向上	-	171%	30%	-	174%	30%	-	-	-	-	-	1	1	24年度の実績が、目標を下回っているのは、食品加工業者からの出荷量が、販売先の販売不振により、食品加工業者側が余剰在庫にならないよう、生産者側に対して、必要量以上の供給を避けていたこと、生産者側も、他の取引先との兼ね合いもあり、協議会以外へ出荷したことが大きな要因である。しかしながら、事業実施主体においては、国内における新規開拓を実施しながら、欧米方面の新規開拓を強化する方向で動いており、EU方面で2社、アメリカ方面では3社(うち日系スーパー2社)と取引が開始された。特にアメリカ商社との連携強化を模索しており、現在大手1社、日系スーパー1社と商談中であり、今後、それらの実績を基に成果目標を達成するための改善計画を求める。		
	鹿児島市	製販協同流通協議会	茶	21年度	供給連鎖による付加価値の向上	-	10%	1%	中間事業者と食品製造業者は同一			-	-	6%	0%	-	1	1	24年度の実績が目標値を大きく下回っているのは、販路開拓が途中段階であることが、大きな要因である。しかしながら、事業実施主体においては、生産者と茶商が連携し、被覆栽培による付加価値の高い生葉生産が図られており、販路開拓に向け粉末茶の菓子業者等への働きかけもおこなわれており、今後、それらの実績を基に成果目標を達成するための改善計画を求める。		
熊本	玉名郡和水町	アグリ古閑丸協議会	大豆	21年度～23年度	国産原材料の供給力の向上	-	200%	380%	-	200%	380%	-	-	-	-	-	1	1	実施計画等に基づき適正に実施され目標を達成した。		

- (注) 1 成果目標関係について、補足資料(別添2)を添付すること。
 2 整備事業については、実施した場合に整備内容を記載すること。
 3 費用対効果分析は、事業採択時と同様の方法で実施すること。
 4 地方農政局長等が災害により事業計画で定めた方法では評価が困難と判断した場合は、その旨を地方農政局等の意見の欄に記述すること。
 併せて、代替案で事業評価した場合は、一段下の欄に事業評価の検証方法及び評価結果を記入すること。
 5 中間的な評価の場合には目標値の欄に(中)の記述とともに中間評価の目標値を記載すること。
 6 事業計画の妥当性の欄には、計画が妥当な場合には1を、計画が不適切な場合には0を記入すること。
 7 適切な事業執行の欄には、事業が適切に執行された場合には1、適正に実施され、更に競争入札を実施した場合には2を、それ以外の場合には0を記入すること。

問い合わせ先
 九州農政局生産部園芸特産課 096-211-9111(代表)
 農政調整官(野菜・特産情報) 内(4464)
 野菜計画流通係 内(4475)